

製品インストール後に起動できない場合の対処法

弊社製品インストール後に、下記環境においてアプリケーションが起動されない場合の解除方法についてご案内しております。

対象 OS

クライアント用 OS	サーバ用 OS
Windows XP ServicePack2 以降	Windows Server 2003 ServicePack1 以降

原因について

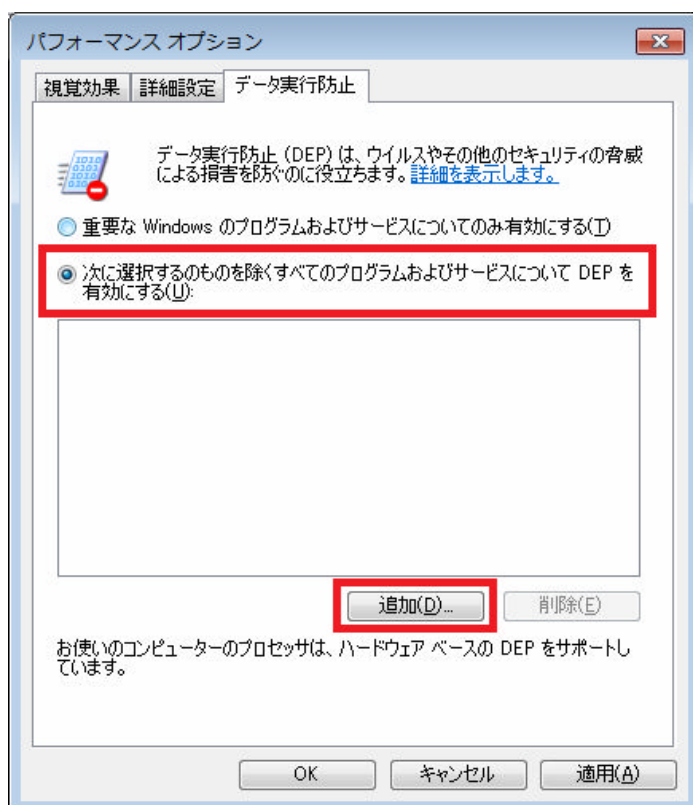
マイクロソフト社のセキュリティ強化対策として、スタックやヒープ上に置かれたコードの実行をOSが制限する「データ実行防止 (Data Execution Prevention。以下 DEP)」という機能が新たに実装されています。 Windows Server 2003 SP1、Windows XP SP2 以降の OS 環境にインストールをおこなうと、GUI を持つ一部のアプリケーションの実行がブロックされる場合があります。

【参考 URL】

<http://windows.microsoft.com/ja-JP/windows7/Change-Data-Execution-Prevention-settings>

DEP 解除方法

「スタート」 ボタンをクリック後、「コンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」を開きます。「システムの詳細設定」をクリックし、「詳細設定タブ」を選択、「パフォーマンス」の「設定」をクリック。 ⇒ 「データ実行防止」タブを選択します。

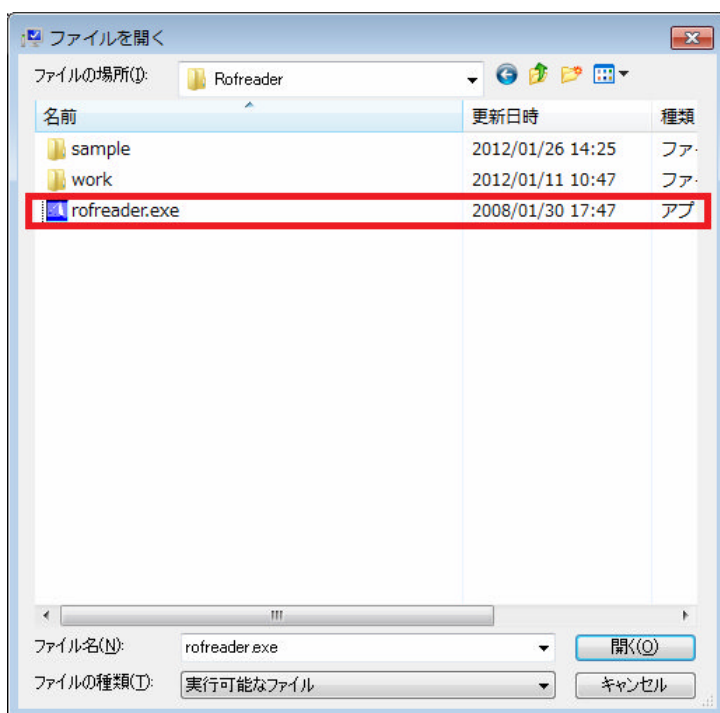


2つあるラジオボタンのうち、「次に選択するものを除くすべてのプログラムおよびサービスについて DEP を有効にする (U)」を選択していることを確認します。

「追加」を選択後、ファイル選択のウィンドウが開きますので、

対象プログラムの実行可能ファイル(拡張子が.exe のファイル)を選択してください。

【例：ROF Reader の場合】



【FormHelper の場合】

formconf.exe, gaijedit.exe, viewer.exe, editor.exe

(V5.1 の場合、editor.exe は、bin フォルダ配下にある feditor.exe になります)

【DURL サーバの場合】

dam.exe, durlconf.exe, gaijedit.exe, servreq.exe,

【DURL クライアントの場合】 ¥DURL Job Operator 配下

clireq.exe, DurlJope.exe, durlview.exe

【XRF Reader の場合】 XRF Reader インストールディレクトリ¥bin 配下

xrfjvprint.exe(もしくは xrfprint.exe), xrfboot.exe, xrfstart.exe

【ROF Reader の場合】 ROF Reader インストールディレクトリ配下

rofreader.exe